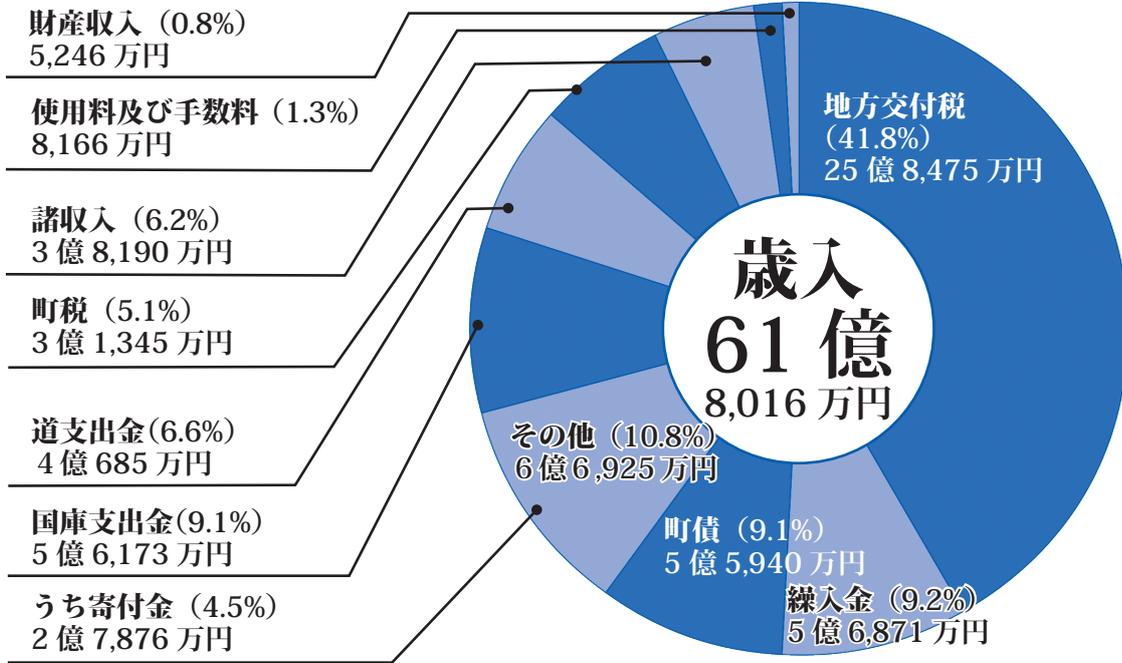


町の決算

まちの家計簿といえる令和4年度決算を公表します。
 町民みなさんから納めていただいた税金や国、道からの補助金等がどのように使われているかをお知らせするものです。
 年々、厳しくなる財政状況の中、節減に努め効率的な財政運営を行ない財源確保に最大の努力を図っていききたいと思
 いますので、町の行政について、皆さんの一層のご理解とご協力をお願いいたします。



税区分	決算額	構成比	町民一人当たり
町民税	1億4,725万円	47.0%	51,594円
固定資産税	1億2,618万円	40.3%	44,211円
軽自動車税	1,119万円	3.6%	3,921円
たばこ税	1,988万円	6.3%	6,966円
入湯税	895万円	2.8%	3,136円
合計	3億1,345万円	100%	109,828円

区分	令和4年度末現在高
公営住宅	1億8,416万円
公共事業等	8,004万円
過疎対策事業	22億3,932万円
緊急防災・減災事業債	3億5,371万円
臨時財政対策債	1億8,410万円
その他	1億2,427万円
合計	31億6,560万円

区分	面積/数量	金額
土地	5,407,538㎡	
建物	105,076㎡	
山林	3,554,824㎡	
車輜		79台
絵画		2点
有価証券		508万円
出資金等		822万円
基金(一般会計分)		34億2,900万円
財政調整基金		4億9,074万円
減債基金		6億6,054万円
特定目的基金		22億7,397万円
定額運用基金		375万円
備荒資金組合納付金		5億3,589万円

一般会計

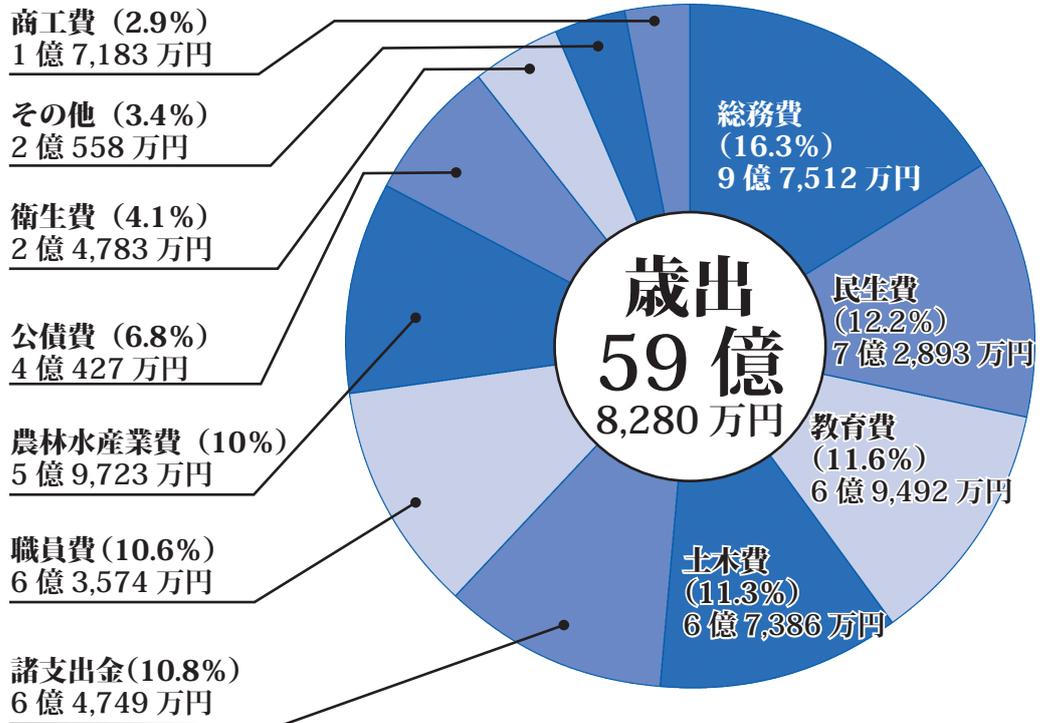
一般会計の決算額は、歳入が61億8,016万円、歳出59億8,280万円で差し引き1億9,736万円の黒字決算となりました。

町民の皆さんが納めた町税は3億1,345万円で、1人当たり10万9,828円負担したことに
 なります。
 これに対し、1人当りに使われた費用は209万6,286円で黒字決算とはいえ依然、自主財源に乏しくその大半を地方交付税や町債(町の借金)に頼る財源内容となっています。

◇備荒資金組合納付金とは：
 災害による減収補てん・災害応急復旧事業費やその他災害に伴う費用にあてるために、道内の市町村が一部事務組合を設立し積立を行っているもので、使い道が災害関連等に限定される普通納付金と、使い道に制約の無い超過納付金に分けられています。

用語の解説

- 総務費…町の内部管理・税務・戸籍・選挙・統計などに要する経費です。
- 民生費…福祉事業、認定こども園運営費などの経費です。
- 衛生費…健康づくり、ごみ、し尿処理などに要する経費です。
- 農林水産業費…農林業の振興などに要する経費です。
- 商工費…商工業・観光の振興などに要する経費です。
- 土木費…道路整備・維持、町営住宅管理などに要する経費です。
- 教育費…小中学校、社会教育、保健体育などに要する経費です。
- 公債費…町の借入金の返済に要する経費です。
- 諸支出金…基金の積立金などに要する経費です。
- 職員費…職員に対して支給される給料と各種手当などに要する経費です。
- その他…議会費、消防費などの経費です。



地方公営企業とは、地方公共団体が地域住民の福祉の増進を目的として経営する企業です。

※特別会計と公営企業会計は、税・使用料・負担金・国道支出金のほか、一般会計からの繰入金等で運営がなされる。効率的運用に努めています。

公営企業会計

特定の事業に使われる経費を一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。

特別会計

特別会計		
会計名	歳入	歳出
養護老人ホーム	3億5,610万円	3億3,802万円
特別養護老人ホーム	3億8,696万円	3億8,696万円
高齢者グループホーム	4,457万円	4,457万円
介護保険	3億4,004万円	3億1,949万円
国民健康保険	4億3,496万円	4億3,297万円
後期高齢者医療	6,682万円	6,676万円
公共下水道	1億5,415万円	1億5,315万円
合計	17億8,360万円	17億4,192万円

公営企業会計			
会計名	区分		決算額
水道事業会計	収益的	収入	1億5,950万円
		支出	1億6,037万円
	資本的	収入	8,690万円
		支出	9,731万円